

BOSAI 人材育成プログラム ワークショップ@いわきが開催されました（2026/9/28-29）

テーマ：BOSAI 人材育成，防災・減災，復興，地域共創人材育成
会 場：福島県いわき市小名浜地区（いわき・ら・ら・ミュウ、小名浜港、イオンモールいわき小名浜、小名浜市民会館ほか）
URL：<https://www.ggi.tohoku.ac.jp/project/1788/>

2026 年 9 月 28 日（月）・29 日（火）の 2 日間、福島県いわき市小名浜地区を中心として、「2026 年度 BOSAI 人材育成プログラム ワークショップ@いわき」を実施しました。本プログラムは、東北大学グリーン未来創造機構が FUKUSHIMA サイエンスパーク構想のもとで進める「BOSAI から総合知と地域・文化を学び地域で活躍する人材育成プログラム」の一環として実施したものです。

初日の 9 月 28 日は、いわき・ら・ら・ミュウにおいて、いわき市危機管理部と株式会社いわきスポーツクラブ、それにいわき市総合政策部から、防災・減災、復興、まちづくり等に関する講話をいただきました。その後、国土交通省東北地方整備局小名浜港湾事務所の協力のもと、小名浜港を海上・陸上から見学し、港湾施設や物流などの社会基盤と防災・減災との関係について学びました。

2 日目の 9 月 29 日は、イオンモールいわき小名浜において、商業施設における防災・減災や地域との関わりについて学んだほか、小名浜周辺のまちあるきや震災伝承施設等の見学を行いました。最後には、小名浜市民会館において振り返りワークショップを実施し、2 日間で「知ったこと」「聞いたこと」「見たこと」「感じたこと」や、今後さらに学びたいこと、未来世代に伝えたいことについて参加学生同士で意見を共有しました。

今回のプログラムを通じて、行政、スポーツ、港湾、商業施設、震災伝承など、多様な視点から地域における防災・減災、復興、まちづくりについて学ぶ機会となりました。今後も、いわき市をはじめとする福島浜通りの地域の皆様との連携を進めながら、地域から学び、地域とともに BOSAI を考える人材育成に取り組んでいきます。



小名浜港での参加者集合写真



小名浜港で東北地方整備局職員より説明を受けている様子



振り返りのワークショップの様子

文責：柴山明寛（災害文化アーカイブ研究部門）、御手洗潤（空間デザイン戦略研究分野）、
千釜章（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）、齋藤玲（認知科学研究分野）